

外国語活動学習指導案

単元名「He is famous. She is great.」

令和元年11月22日（金）第6学年 HRT、JTE、ALT

I 単元の構想

1 身に付けさせたい資質・能力及び児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	相手に配慮しながら、自分やある人物について紹介したり、例文を参考に紹介する文を書いたりして、進んで相手に伝えようとする態度。
外国語への慣れ親しみ	自分やある人物を紹介したり、その人物に対して質問したりする表現に慣れ親しむ。
言語や文化に関する気づき	日本や外国のある人物についてのやりとりをする中で、外国の文化や日本語と外国語との語順の違いに気付く。

2 目標

相手を意識して伝えようとする意欲をもつとともに、日本の有名な人物やキャラクターについて紹介する表現に慣れ親しむ。

3 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

相手に配慮しながら、自分のことや第三者のことについて伝え合おうとする。

【外国語への慣れ親しみ】

自分や第三者について紹介したり、質問したりする表現に慣れ親しむ。

【言語や文化に関する気づき】

英語と日本語での伝え方の語順の違いに気付く。

4 単元計画及び指導方針

◎単元の目標 ○本時の目標

時	学習活動	評価	指導方針
1	<p>・単元のめあてを明確にし、今後の学習に見通しをもつ。</p> <p>◎市内のALTに日本の有名人やキャラクターを紹介しよう。</p> <p>○ALTに日本の有名人やキャラクターを紹介する準備をしよう。</p>	<input type="checkbox"/>	<p>・ALTの動画を見たり、JTEとALTのSmall Talkを聞いたりすることで、単元の課題や学習内容に気付かせる。</p> <p>・日本の有名な人物やキャラクターについて、考えられるように、有名人や人気キャラクターのリストを紹介する。</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> ・果物、動物、スポーツ、教科などの単語を聞いたり、言ったりして新出単語に慣れ親しむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○日本の有名人やキャラクターについて紹介するときに使えそうな単語を練習しよう。</p> </div>	慣	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と JTE の発音をしっかり聞いて、繰り返し単語が言えるような活動を設定する。 ・発音しているもののイメージをもつことができるように、絵カードを黒板に掲示しながら、単語に慣れ親しませる。 ・単語カードを使って、好きかどうかをインタビューし合うやり取りの練習をする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・果物、動物、スポーツ、教科などの単語を使って、インタビュー活動を行いながら、既習表現を使ったり、新出表現に慣れ親しんだりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○さまざまな単語を使って、好きかどうかを友達にインタビューしよう。</p> </div>	慣	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲的に活動できるようにするために、前時とは異なるゲームを取り入れて、英単語の定着を図れるようにする。 ・Small Talk 等を活用しながら、今まで学んだ既習表現を想起できるようにする。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使って英文を表しながら、日本語と英語の語順の違いに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○絵カードを使って、聞き取った英文を書こう。</p> </div>	気	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT に紹介する際には、ポスター等を見せることで、自分が言いたいことが伝わりやすいことに気付かせる。 ・人を表すカードや動作等を表すカードなど、それぞれ色違いのカードを提示し、語順にも意識が向けられるようにする。 ・日本語と英語との伝え方の違いの理解を深めることができるようにするために、児童に発言に対して、切り返しの発問をする。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや聞き取ったことについて、語順に気を付けて文に書き写すことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ポスターを作成するために、語順に気を付けながら、英文を書き写そう。</p> </div>	コ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを表す文を丁寧に書き写すことができるように、4線の入ったミニ黒板にモデルを示すようにする。 ・語と語の間にスペースがあることに気付けるようにする。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ある人物の説明を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができるとともに、ある人物になりきってその人物を説明したり、説明を聞いて理解したりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ALT が言う Who am I? Quiz に挑戦しよう。</p> </div>	慣	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りクイズの内容を推測できるようにするために、JTE や ALT が繰り返し、ゆっくりと発音するようにする。 ・次時は自分たちが Who am I?クイズを行うことを伝え、活動に対して意欲を高められるようにする。 ・クイズに出題されたキャラクターについて、好きかどうかをインタビューし合うやり取りの練習をする。

7 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 既習の表現で作った Who am I? Quiz を発表し合う学習内容にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○Who am I? Quiz を出し合おう。</div>	☐	<ul style="list-style-type: none"> クイズの内容を聞き手に伝えやすくするために、出題するときに、紹介カードを見せるようにしてクイズを出す。 回答者が、クイズに答えることが困難な場合に対応できるように、出題者はヒントを考えておくようにする。
8	<ul style="list-style-type: none"> ◎ALT に日本の有名な人物やキャラクターについて紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎市内の ALT に日本の有名人やキャラクターを紹介しよう。</div>	☐	<ul style="list-style-type: none"> 初めて会う ALT に対して、和やかな雰囲気がつくれるよう、ALT が自己紹介をする際は、相手意識をもって聞けるようにする。 自己紹介をする際は、以前作成した、自己紹介 (This is me.) カードを使って、自己紹介を行う。 日本の有名な人物やキャラクターをわかりやすく伝えるために、インターネットでイラストや写真を印刷しておくようにする。

II 本時の学習 『 He is famous. She is great. 』 (8 時間計画) 本時 7 / 8

- 1 **ねらい** 日本のある有名な人物やキャラクターについて、市内の ALT に伝えようとする意欲を高める。
- 2 **準備** パソコン、電子黒板、ホワイトボード、絵カード、コミュニケーションポイントカード、ミニ黒板、振り返りカード
- 3 **使用表現** I like/play~ . I have/want~. I eat~. I study~. I can~. Who am I?
語彙例 動物、飲食物、スポーツ、身の回りの物、教科、動作、状態、気持ちなど
- 4 **展開**

学習活動	時間	指導の役割分担・指導上の留意点		
		HRT	JTE	ALT
[Greeting] 1 あいさつをする。 ・月日、曜日、天気を答えながら、簡単な交流をする。 Small Talk (教師⇄児童) ・ペアで既習内容を用いて、会話をする。 Small Talk (児童⇄児童) [Warm-up] ・チャンツ	10	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 児童 1 人 1 人がしっかり声を出しているかを確認する。 センテンスの練習のときに、ホワイトボードに絵カードを貼り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつに続けて、既習事項を含む簡単なやりとりをする。 児童の近くで発音するようにする。 ALT とスモールトークのモデルを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつと月日、曜日、天気の間いかけを行い、児童と簡単なやり取りをする。 JTE とスモールトークのモデルを示す。
[Today's Goal] 2 JTE・ALT との会話を聞き、本時のめあてをつかむ。 (Model conversation)		<ul style="list-style-type: none"> 児童の発言を生かし、今日のめあての確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ALT と会話 (モデル) をする。 (Model conversation) 	<ul style="list-style-type: none"> JTE と会話 (モデル) をする。 (Model conversation)
<本単元のめあて>市内の ALT に日本の有名人やキャラクターを紹介しよう。 <本時のめあて>Who am I? Quiz を出し合おう。				
		<ul style="list-style-type: none"> ALT と JTE との会話から、コミュニケーションポイントと簡単なやり 	<ul style="list-style-type: none"> やり取りのためのセンテンスを練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> やり取りのためのセンテンスを練習させる。

<p>○ ALT の Who am I? Quiz を聞いて、答える。</p>		<p>取りを事前に記したミニ黒板とを掲示して、意識付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話の内容を児童に発問し、聞き取ることができているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションポイントだけでなく、相づちや繰り返しなども意識して会話をする。 ・児童の発言に対して、助言をしたり、賞賛の言葉をかけたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションポイントだけでなく、相づちや繰り返しなども意識して会話をする。 ・児童の反応を見ながら、ゆっくりとクイズを出して、児童と簡単なやり取りを行う。
<p>[Activity] 4 本時の活動に取り組む。</p> <p>○ Who am I? Quiz (1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自練習する。 ・作成したクイズを出し合う。 ・クイズに答え終わったら、出題者と回答者で、その人物について簡単なやり取りをする。 <p>[Intermediate] 【中間評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童の発表を聞く。 <p>○ Who am I? Quiz (2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を参考にし、もう一度行う。 ・数人が全体で発表する。 	<p>20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズに回答できない場合は、繰り返したり、ヒントを伝えたりするように助言する。 ・中間評価では、クイズだけではなく、コミュニケーションポイントを意識して、やり取りも上手に行っている児童を選ぶようにする。 ・相手を意識して伝えていたり、簡単なやり取りを上手に行ったりしている児童に発表させ、よいところを自分の発表に反映させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が理解していないようであれば、必要に応じて補足する。 ・児童間の会話に参加して、相手を意識したやり取りのモデルを示すとともに、クイズの後、その人物について簡単な質問をする。 ・発表の良いところを見つけて、賞賛の言葉がけをする。 ・机間指導をしながら、助言をしたり、会話と一緒に入ったりして、コミュニケーションが円滑に進むように配慮する。 ・発表の良いところを見つけ、賞賛の言葉がけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見ながら、難しい単語などの助言をする。 ・児童間の会話に参加して、相手を意識したやり取りのモデルを示すとともに、クイズの後、その人物について簡単な質問をする。 ・発表の良いところを見つけて、賞賛の言葉がけをする。 ・児童の会話に助言をしたり、会話と一緒に入ったりして、コミュニケーションが円滑に進むように配慮する。 ・発表の良いところを見つけ、賞賛の言葉がけをする。
<p>【評価】 日本の有名な人物やキャラクターについて、友達とのやり取りをしながら、相手に伝えようとしている。 (観察・ふり返りカード)</p>				
<p>[Reflection] 5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 ・数人が振り返りを発表する。 ・次回は実際に他校のALTとやり取りをすることを伝える。 	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を賞賛する。 ・ALT に紹介するときには、He や She を使うことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安中市の ALT が、児童の紹介を楽しみにしていることを伝える。

5 板書計画

Final Goal

市内の ALT に日本の有名人やキャラクターを紹介しよう。

Today's Goal

Who am I? Quiz を出し合おう。

Question List

Do you like ~? Yes, I do / No, I don't.

What food do you like? I like ~.

Why? It's ~.

How about you?



JTE (Who am I? Quiz)

ALT (Who am I? Quiz)